



しっかり食べる事は元気の基本



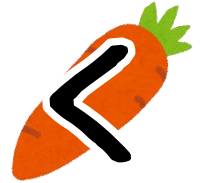
よく噛んで味わって食べる



工夫した食事で感性を育てる



いただきます、ごちそうさま、感謝の気持ちで食べる



ぐんぐん大きく育つ天願っ子

給食を通して感じる成長!

早いもので今年度も1か月となり卒園、進級の時期がやってきました。コロナ禍の中で、黙食での給食時間でしたが、子ども達は自分で配膳し、自分の食べれる量を盛り付け食べる姿が給食室から見られるようになりました。また、苦手だった食材もすっかり食べれるようになり「嫌いだったけど食べたよ」「これ大好きになった」など自慢げに私たちに声をきかせてくれるようになり成長を感じています。1年を通して『食べる力は生きる源』をねらいに栄養バランス・色彩を考慮しながら、行事食、バースデーランチ、バイキング形式にてうれしい、楽しい、美味しい給食を提供してきました。



菜園活動

今年もたくさんの野菜が実り、子供たちが収穫してきたジャガイモをポテトフライ、煮っころがしにして美味しくいただきました。自分たちで育て、収穫した野菜は格別に美味しいようで友達同士で「おいしいね、もっと食べたいね」など声をかけておかわりをしていました。

3月菓子

沖縄では、旧暦の3月3日は、女の節句です。女性は浜に下りて手足を海水に浸け、不浄を払い落として身を清めます。「浜下り(ハマウリ)」と呼ぶ行事です。浜下りに欠かせない『三月御重(サングワチウジュウ)』と呼ばれ重箱にお肉、魚天ぷら、ごぼう巻き、赤飯、三月菓子を詰めてご馳走を持ち寄り、潮干狩りやおしゃべりをしながら、浜辺で楽しい時間を過ごすのです。

1年も終わりに近づき...

1年も終わりに近づきました。4月に比べて子どもたちには、たくましさ頼もしさが備わってきたように感じる今日このごろです。3月には、「桃の節句」があります。きれいなひな人形を飾って、白酒やしもちなどをお供えし、子どもたちの無病息災を祈る行事ですが、子どもを思う親の気持ちは、今も昔も同じですね。

